

# HOPES

ホープス セカンド

2nd

「真奈美先生、あのね…」  
一生懸命に話しかける園児の言葉に、優しく相槌を打つ菅野さん。やりがいをもつて保育補助の仕事に取り組んでいます。「難しさもあり、まだまだ勉強中」とはにかむ笑顔が印象的です。  
東京都で一人暮らしをしていました。新型コロナウイルスの影響が広がる中、村で働く母親の弘美さんから子ども園の求人聞き、ふるさとへ

ふるさとで新しい夢を育みたい

菅野真奈美さん(草野)



比曾で生まれ育った菅野さん。飯櫃小学校、飯館中学校の出身です。専門学校卒業後は福島市や東京都で仕事をしてきました。今年9月から「まていの里のこども園」で保育補助として勤務しています。



新雪が積もった園庭の築山で、ソリ遊び楽しむ子ども達と。(子どもの頃の真奈美先生もソリ遊びが好きだったそうですよ)。仲良く安全に遊べるよう、笑顔を交わしながら、そっとサポート。

戻ることを決意しました。祖母や両親と暮らした懐かしいふるさとで暮らすのは、中学校卒業以来です。  
震災が起きたのは高校1年生の時。家族を思い、将来についても「不安でいっぱいの日々を過ごした」そうです。その後は専門学校で製菓を学び、菓子店に就職。パティシエの道に進みますが、体を壊して断念せざるを得なくなり、再出発のために経験を積もうと上京しました。  
「生活の全てを自分でやるのは初めてで、少しは自立ができたかなと思います」。  
そして現在の笑顔があります。「村の子ども達は外遊びが大好き。元気いっぱい、で素直です」。菅野さんは、保育士になるための勉強を始めました。「自分を奮い立たせて」新しい夢に「一歩を踏み出しています」。

編集後記

あけましておめでとうございませう。取材を通して昨年も多くの方とお話しさせていただきました。「この笑顔と笑い声は、お金じゃ買えないね」「友達は心の支えです」今年も心がホッとする、支えになるような言葉にたくさん出会えますように。(木幡)

● 商工会主催の光のイベント、訪れたたくさんの方の笑顔もキラキラでした。こんな素敵なイルミネーションを手作りしてしまうなんて…青年部の皆さんすごいです。ふるさとのために行動するまさに「わくわく」の担い手！感動いっぱい冬の夜を、ありがとうございます。(星)



飯館村は「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。